

くれよん ほっと通信

2024年2月29日発行
No.194

Wel 新人紹介

昨年の11月からWelのイエローで務めさせて頂いています、山中 梨沙です。
今まで病院で医療の介護で仕事をしてきました。利用者の方々、1人1人の個性を大切に気持ちに寄り添いながら、その人に合った支援をしていきたいです。
未経験の仕事で分からない事ばかりで、ご迷惑をお掛けしますが一生懸命努めて行きたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

支援員 山中 梨沙

昨年12月からWelのイエローで務めさせて頂いています松下 幸子です。
以前は介護施設、地域活動支援センターで仕事をしてきました。
療育に携わる仕事は未経験で、まだまだ学ぶことが沢山ありますが利用者様の立場になって考え理解する姿勢や積極的な姿勢を忘れずに利用者様と関わっていきます。
至らない点がありますが宜しくお願い致します。

支援員 松下 幸子

11月28日からくれよんでお世話になっております。
重度の障害を持たれた方に接するのは初めての為、何をすれば良いのか戸惑う事が多かったですが、先輩支援員の方々に支えられて頑張っています。
毎週の新人研修で学んだ事を学習や日々の支援に活かせるよう日々精進して参ります。
これからもよろしくお願い致します。

支援員 野口 秀子

くれよん方式

理事長 中山 一

くれよん方式は脳科学を土台とし、脳のはたらきから療育、つまり、利用者様にどう接し、どのような課題を提示するかを考えて日々の活動を行っています。

その中で、課題以前にくれよんの支援員が気をつけているのは「利用者様に対して敬語を用いて話す」ということです。教育現場や福祉の現場はともすると「～をしてあげている」「～を教える」という気持ちになりがちです。くれよんでは、障害を抱えながら日々を懸命に生きておられる利用者様に敬意を表すことからすべてが始まる、と考えています。そして、「成長⇒生きやすさ」を1日来ていただくごとに持ち帰っていただくサービスを提供する者としての基本的姿勢が「敬語」です。年齢には関係なく、支援員は利用者様に対して敬意を持って接しますので、これからも安心してご利用いただければ、と思います。人として接する基本的姿勢の「敬語」の意味をお話させていただきましたが、今回は敬語の療育的な意味について説明させていただきます。

続きは次回に…

YouTube チャンネルも随時更新中！→



3月の予定

全体

12日(火)	ダンスプログラム
20日(水)	工賃日
26日(火)	運営会議(半日帰り)

With

6日(水)	卓球
21日(木)	レクリエーション(就B)
23日(土)	ヨガ
29日(金)	レクリエーション(生活介護)

Wam

13日(水)	卓球
27日(水)	レクリエーション

Wel

6日(水)	卓球
13日(水)	卓球
21日(木)	レクリエーション

事務局より

これまで郵送させて頂いていたほっと通信ですが郵送料高騰により今年度にて終了させて頂きます。必要な方はくれよんのホームページをご覧ください。ご迷惑をお掛けしますがよろしくお願い致します。

くれよんホーム神楽

[共同生活援助・短期入所]

〒653-0836 神戸市長田区神楽町 5-3-14-2
☎ 078-646-3515 ☎ 078-646-3516
✉ mitsuki.shimomura@crayon.or.jp

With くれよん

[就労継続・生活介護]

〒653-0038 神戸市長田区若松町 4-4-1
☎ 078-385-1982 ☎ 078-797-4009
☎ 078-385-1984 ☎ 078-786-3551
✉ crayon@crayon.or.jp
🌐 http://www.crayon.or.jp

Wel くれよん Wam くれよん

[就労継続・生活介護]

Green Green

〒653-0036 神戸市長田区腕塚町 5-3-1
☎ 080-4641-9040

